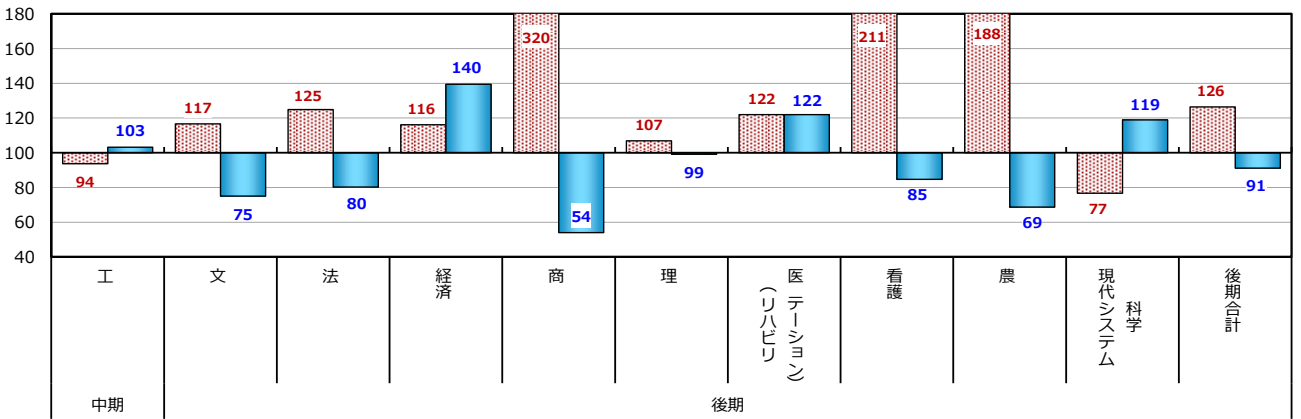
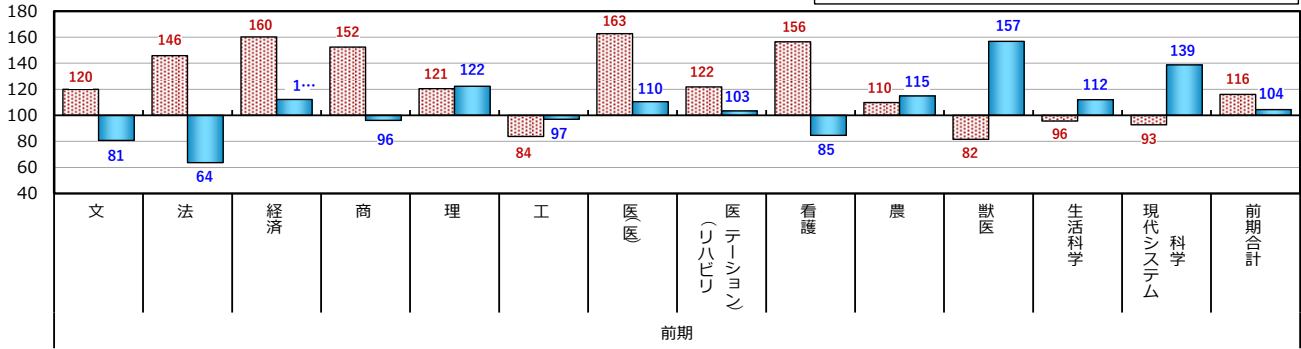


大阪公立大：大学全体では微増だが、3年連続国公立大最多志願者数 前期：+240人 中期：+183人 後期：-252人

※前年度の志願者数を100とする指数

■ 2023年度/2022年度 ■ 2024年度/2023年度



**主な入試変更点** 第1段階選抜基準変更：医(リハビリテーション/理学療法学)<後>…17倍→27倍  
医(リハビリテーション/作業療法学)<後>…17倍→27倍

**COMMENT** ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、171人(101)の微増だが大阪公立大に統合後では2年連続増加。全国の国公立大で3年連続最多の志願者数だった。前期は240人(104)のやや増加で、志願倍率は3.2倍→3.3倍にアップ。中期は工のみの募集だが、前年度やや減少の反動で183人(103)のやや増加。学科別では、12学科中8学科が増加。特に(化学バイオ工)(124)、(機械工)(118)、(都市)(117)は大幅増加。一方で、(海洋システム工)(75)は大幅減少。後期は前年度大幅増加の反動は小さく252人(91)の減少。志願倍率は2年ぶりに10倍を下回った。

**<前期日程>**

- 文(81)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 法(64)は、前年度50%近い大幅増加の反動で大幅減少。
- 経済(112)は、前年度の激増に引き続き増加。
- 商(96)は、前年度50%以上の大幅増加の反動は小さくやや減少。
- 理(122)は、2年連続大幅増加。学科別では、6学科中4学科が増加。特に(物理)(147)、(化)(139)、(数)(136)が大幅増加。一方で、(地球)(78)が大幅減少。
- 工(97)は、前年度大幅減少に引き続きやや減少。学科別では、12学科中7学科が減少、特に(化学工)(70)、(電気電子システム工)(71)の2学科が大幅減少。一方で、(電子物理工)(134)、(マテリアル工)(131)、(海洋システム工)(123)、(航空宇宙工)(117)の4学科が大幅増加。
- 医(医)(110)は、前期のみの募集だが、前年度60%を超える激増に引き続き増加。志願倍率は1.9倍→3.1倍→3.4倍とアップ。共通テストの平均点アップの影響による強気な出願動向が影響。
- 医(リハビリテーション)(103)は、前年度大幅増加に引き続きやや増加。専攻別では、(リハビリテーション/作業療法学)(153)は大幅増加、(リハビリテーション/作業療法学)(74)の大幅減少と対照的。
- 看護(85)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願倍率は3.6倍→3.0倍にダウン。
- 農(115)は、前年度増加に引き続き大幅増加。学科別では、特に(緑地環境科学)(161)が大幅増加、他の2学科は前年度並。
- 獣医(157)は、前期のみの募集だが、前年度大幅減少の反動で大幅増加。志願倍率は2.9倍→4.6倍にアップ
- 生活科学(112)は、前期のみ募集だが、増加。募集単位別では、4募集単位全てが増加。特に(人間福祉)(126)、(食栄養)<均等型>(121)が大幅増加。
- 現代システム科学域(139)は、大幅増加。志願倍率は3.6倍→5.0倍にアップ。募集単位別では10募集単位中5募集単位が減少、4募集単位が増加、1募集単位が前年度と同一志願者数とほぼ均等に分かれた。減少した募集単位では、(学域単位募集)<理・数型>(74)、(学域単位募集)<英・小論型>(83)、(学域単位募集)<英・国型>(85)が大幅減少。一方で、増加した4募集単位はいずれも大幅増加。特に(環境社会システム)<英・国型>(311)は3倍以上、(環境社会システム)<理・数型>(169)は激増。

**<後期日程>**

- 文(75)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。

- 法(80)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 経済(140)**は、2年連続大幅増加。志願倍率は4.8倍→5.6倍→7.8倍とアップ。選抜方式別では、<高得点選抜>(154)が50%以上の大幅増加。
- 商(54)**は、前年度3.2倍増の反動でほぼ半減。志願倍率は12.4倍→6.7倍にダウン。
- 理(99)**は、前年度やや増加の反動はなく前年度並。学科別では、6学科中増減が3学科ずつだが、減少した3学科は、(地球)(73)、(生物)(74)、(生物化)(75)といずれも20%以上の大幅減少。
- 医(リハビリテーション)(122)**は、2年連続大幅増加。専攻別では、(リハビリテーション/理学療法学)(130)は大幅増加、(リハビリテーション/作業療法学)(113)は増加。いずれも、増加率はほぼ前年度と同じ。
- 看護(85)**は、前年度倍増以上の反動で大幅減少。志願倍率は9.8倍→8.3倍にダウン。
- 農(69)**は、前年度激増の反動で大幅減少。学科別では、3学科のいずれも大幅減少、特に(応用生物科学)(57)は前年度3倍増以上の反動で40%以上の大幅減少。
- 現代システム科学域(119)**は、(学域単位募集)のみで、前年度大幅減少の反動で大幅増加。志願倍率は6.0倍→7.2倍にアップ。